

島根県公共事業再評価 対応方針（案）

作成日 令和4年7月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
	(事業概要) (事業主体の根拠)	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (進捗状況と今後の見込み)	(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)	(費用対効果) (コスト削減・代替案等) (その他の効果)	(生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)	(継続・中止)
1	<p>(事業名・地区) 水産生産基盤整備事業（浦郷地区）</p> <p>(事業位置) 隠岐郡西ノ島町</p> <p>(事業費) 1,431,000 千円</p> <p>(事業概要) 耐震強化岸壁 L=172m 臨港道路 L=220m 漁港施設用地 A=2,809 m² 東沖防波堤対津波補強 L=215m 西沖防波堤対津波補強 L=160m</p> <p>(事業主体の根拠) 県管理漁港のため</p> <p>(再評価区分) ②事業採択後 10 年を経過している継続中の事業</p> <p>(担当部課名) 農林水産部水産課</p>	<p>(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) 事業採択年度:2013(H25)年度 工事着手年度:2013(H25)年度 完了予定年度:2024(R6)年度 経過年数：10 年</p> <p>(進捗状況と今後の見込み) 令和 4 年度当初時点 進捗率：93%</p> <p>令和 6 年度完了予定</p>	<p>(事業導入の経緯・目的) 浦郷漁港は隠岐諸島では西郷漁港に次ぐ生産拠点である一方で、県地域防災計画では 2 次の防災拠点として、災害時の物資輸送や災害救援等の活動に期待されている。</p> <p>本事業では災害時の救援物資等輸送のためのフェリー接岸に対応する岸壁等の耐震強化を実施する。</p> <p>臨港道路については、狭小で見通しの悪い区間を改良し、水産物輸送の迅速化とともに地域住民や来訪者の安全性を確保する。</p> <p>(事業を取り巻く社会情勢) 岸壁の耐震化が完了後は、第 1 次防災拠点へ、地域防災計画を変更する予定。</p> <p>(事業に対する地元情勢・計画の熟度) 浦郷漁港周辺には警察署や消防署、郵便局など重要施設が集積していることもあり、安全・安心確保の需要は高い。</p>	<p>(費用対効果) b / c = 1.08</p> <p>(コスト削減・代替案等) 重力式係留岸壁のうち ① セラーブロック式 ② L型ブロック式 ③ ケーソン式 を比較し、施工条件、経済性を考慮し②を採用。</p> <p>(その他の効果) 岸壁の整備により、近年大型化している漁船の係留にも対応することができる。</p>	<p>(生活環境・自然環境への影響) 臨港道路の整備により、通勤・通学の面でも安全が確保され、良好な生活環境の形成が図られる。</p> <p>また耐震岸壁を整備することにより、地震などの災害時においても被災しない岸壁が整備されているという安心感を持つことができ、安定した生活環境の確保および漁業活動、観光業においても良好な営業環境の形成が図られる。</p> <p>(事業を中止した場合の影響) 地震による被災時に、救援物資を積んだフェリーの接岸可能な港が無い場合、孤立してしまう可能性がある。</p>	<p>(方針案) 継続</p> <p>(継続・中止の理由) 防災拠点漁港における耐震岸壁の整備は県地域防災計画上でも位置付けられており、県民の安全・安心の確保のためにも、引き続き実施する必要がある。</p>

浦郷地区水産生産基盤整備事業

●漁港の概要

浦郷漁港は隠岐諸島では西郷漁港に次ぐ生産拠点である一方で、県地域防災計画では第2次の防災拠点として、災害時の物資輸送や災害救援等の活動に期待されている。

●事業の概要

本事業では災害時の救援物資等輸送のためのフェリー接岸に対応する岸壁等の耐震強化を実施する。

臨港道路については、狭小で見通しの悪い区間を改良し、水産物輸送の迅速化とともに地域住民や来訪者の安全性を確保する。

なお、岸壁の耐震化が完了後は、第1次防災拠点へ、地域防災計画を変更する予定。

位置図



浦郷漁港



臨港道路・耐震岸壁整備状況（令和4年6月撮影）



緊急物資輸送のイメージ

